



バスラ日誌（5月21日）

- 1 第20装甲旅団の拳（こぶし）マークの由来に関して、そのオチは、「特に由来があるわけではなく、単に鉄の意志をもって、敵を打倒するという意味で、アイアン・フィストを部隊章としている。」ということらしい。期待させてご免なさい。平凡な理由でした。でも、あの拳は『鉄の拳』だそう。
- 2 今月のバスラに対する攻撃は、昼間に2回あっただけで、静かな夜が続いている。11日は、1420ロケット弾2発。と昼食を終え司令部に戻る途中、大切な100円ライター（実は25セント）を買いに5分程売店に寄ったためタイミングが合ってしまった。司令部手前の3叉路（前に道路上に弾着があった所）付近を走っていると、空気が揺れるのを感じるような爆発音を聞き、横を見たら、300m～400mのところで弾着直後の煙が上がっていた。続けて爆発音1発、後で座標を確認したら、「近し400」と「遠し600」で線上に挟まれていた。昨日の20日は、ほぼ同時刻の1444爆発音1発、滑走路と1A10師団司令部との中間点付近にロケット弾が弾着した。1月から攻撃13回目（28発）
- 3 日中は拷問施設のように暑い喫煙所では、さらなる危険が待ちかまえている。紳士の国英国のはずであるが、こちらの皆さんは少々お行儀が悪く、1階2階に拘わらず、意を開けて飲み残しのコーヒーや水を外に（中庭に）向かってバシャ、バシャと捨てるので、日陰を求めて壁際に立っていると、とても危険である。今のところ、コーヒーを頭からかぶった人を見たことはないが、注意が必要である。ここでも喫煙者は肩身の狭い思いをしているわけで、窓から捨てる方々と目が合っても、涼しい顔で悪びれたところは全くない。中庭に敷き詰められた砂利は、窓の下の部分だけコーヒー色に染まっている。
- 4 本日快晴。バスラ4名、極めて健康。